



# 阪大Aコース 高齢者医療卒前教育コース

すべての医学生に対して基礎教育のレベルアップを図るとともに、総合診療の意義と社会的役割、超高齢社会における社会医療の問題点、男女協働における課題と対策について理解できる人材、自身のキャリア形成の計画概要を立案でき、グローバルに活躍するためのコミュニケーション能力を持つ人材を養成することを目的として開講いたしました。

**対象者：** 医学部医学科1～6年の医学生（平成26年度までは1・2年生、平成27年度は2年生が対象外）

**修業年限：** 1年（学年毎）

- 概要：**
- 学内外より講師を招いて毎月定例で症例カンファを実施しています。
  - 高度医療の見学体験、患者とのコミュニケーション体験、多職種連携教育などのキャリア教育を行います。
  - 高齢社会における医療倫理、終末期医療、生命倫理などについて学びます。
  - 基礎医学講座配属により、高齢者医療をテーマとした疫学調査や介入研究・高齢者に対する地域ケアシステムなどを学びます。
  - 老年内科学、総合診療の講義を行います。
  - 環境医学・公衆衛生学実習では高齢者医療をテーマとした調査・研究コースを設けています。
  - 臨床医学特論の講義の中で、痛みとその治療や漢方医学、全人的統合医療、地域医療医の役割、キャリア教育などについて学びます。
  - 栄養管理チーム、薬剤部チームの業務に参加して、多職種連携を学ぶ実習を行います。
  - 淀川キリスト教病院で終末期医療を学ぶ学外臨床実習を行います。
  - 選択実習期間中に、希望者に対して海外実習の機会を設け、家庭医療や緩和医療などを学ぶ機会を提供します。

## 阪大Aコース：高齢者医療卒前教育コース

